

平成 27 年度 AOTULE 加盟大学以外のアジア・オセアニアの
大学との教育研究連携助成 採択者

| | |
|--|---|
| 〔研究者〕 | |
|  | 氏名 佐々木 栄一 (Sasaki Eiichi) 所属 大学院理工学研究科土木工学専攻 職名 准教授 |
| 〔タイトル〕 | |
| アジア・ブリッジコンペティション(ABC)による国際交流・教育連携 | |
| 〔背景〕 | |
| <p>アジア・ブリッジコンペティション(ABC)は、アジア圏で土木工学を学ぶ大学生が自らが製作した橋梁模型の性能と架設パフォーマンスを競う大会である。アメリカ土木学会が行っているブリッジコンペティションのアジア版として2008年にタイで開催されて以来これまで8回の開催実績があり、タイ、台湾、日本の大学が参加を続けている。各参加校はルールに則った橋梁模型の設計と部材の加工を事前に済ませ、大会会場では橋梁の性能として重量、載荷時の変形、デザイン性を、架設パフォーマンスとして架設に要する時間と人員数、安全性を競う。2016年3月は東京工業大学担当で初めて東京で実施予定である。</p> | |
| 〔目的〕 | |
| <p>ABCについては、参加に当たって、各大学の学生はルールに基づき、橋梁の設計、製作、架設練習、コンセプトに関する英語によるプレゼンテーション、さらに、各国からの文化的な出し物などを準備することとなり、構造工学や橋梁国に関する教育的な効果のほか、ものづくりへの興味、チームワークなどの協調性や英語によるコミュニケーション・プレゼンテーションに関する力の醸成を図る機会であり、また文化的な交流も行うことから国際的な視野を広げることのできるイベントであることから、国際交流・教育連携の面から有意義な取り組みであると考えている。</p> | |
| 〔実施計画概要〕 | |
| <p>東京大会にむけては本年9月頃募集を開始し11月末までに参加校を確定後、ルールの見直し等の協議に入る予定である。参加校としては、タイからKing Mongkut 工科大学 Ladkrabang 校、Kasetsart 大学 Sakon Nakhon 校、同 Bangkok 校、同 Kamphaeng saen 校、Rajamangala 工科大学、Srinakharinwirot 大学、台湾からは国立中央大学、日本からも複数の大学が参加を予定している。大会では、開会式、プレゼンテーション審査、架設審査、載荷試験、デザイン性審査などを行い、評価を行う。その後、フィールド研修として、東京ゲートブリッジと歴史的な橋梁への訪問を考えている。</p> | |